

平成25年3月25日

東日本大震災における広島大学の対応について

第38回学長定例記者会見（平成25年2月21日）以降、広島大学が対応した内容を下記のとおり報告いたします。（詳細は、大学HPをご覧ください。）

本学は、地震により被災された皆様に対して、引き続き、できうる限りの支援を行う所存です。

記

1. 医療活動支援関係について

(1) 「三次被ばく医療機関」としての広島大学の活動について

○ 緊急被ばく医療チームを編成し、福島県へ連続派遣。

平成23年3月12日（土）第1班を派遣し、平成25年3月12日（火）現在までに37班、延べ1,330人を派遣しています。

基本チーム構成は、医師2人（うち1人は救急医）、診療放射線技師1人、看護師1人、事務職員2人の計6人で、第13班（平成23年4月28日出発）以降は一旦、3人体制としましたが、第19班（平成23年5月20日出発）から3～11人体制とし、一時帰宅に伴うスクリーニングに対応するとともに、平成23年7月からは福島第一原発内に設置の「救急医療室」への救急医の派遣も行っており、平成23年11月からは、看護師も順次派遣しています。

(2) 広島大学病院での被災者医療支援関係

○ 内部被ばく特別検診

予約制によりホールボディカウンタを使用した内部被ばく特別検診を実施しています。

平成23年8月1日から平成23年12月19日まで、毎週月曜日午後実施し、その後、機器の性能向上のための整備を行うため休止していましたが、整備作業終了後、平成24年11月20日から再開、毎週火曜日午後実施しています。

※ 平成25年3月19日（火）までの総受診者数 92人

(3) 医師派遣

○ 平成25年3月2日（土）～17日（日）、病院研修医が福島県南相馬市で高齢者施設や仮設住宅の巡回健診やホールボディカウンタを用いた内部被ばく検査等を実施

○ 平成25年3月10日（日）～3月16日（土）、全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会からの依頼により、岩手県陸前高田市

(県立高田病院)へ整形外科医(病院:クリニカル・スタッフ(大学院生))を外向派遣

2. 広島大学が取り組んできた活動の報告について

- 震災後2年間の被ばく医療支援等を振り返るとともに、被災地フクシマに寄り添いながらの支援活動の取り組みを一冊にまとめた冊子「東日本大震災・福島原発災害と広島大学」を平成25年3月11日に発刊。
- 平成25年3月11日に開催された「文部科学省 東日本大震災復興支援イベント」に参加し、本学が取り組んできた復旧・復興支援活動の実績についての活動報告、冊子・パンフレット配付及びパネル展示を実施。

【本件に関するお問い合わせ先】

財務・総務室 総務グループリーダー 山根
TEL:082-424-6011 FAX:082-424-6020

3. ボランティア活動について

- 「東日本大震災復興支援ボランティア“OPERATIONつながり”」のつながり隊第6次隊25人が、平成25年3月3日(日)～14日(木)まで、宮城県仙台市若林区、石巻市、亶理郡亶理町、亶理郡山元町において仮設住宅での交流会、いちご農園の復興支援、在宅避難者支援、スタディーツアー参加及び山元町立山下中学校において開催される「慰霊祭(3.11)」に参加するなどのボランティア活動を実施。交通費(バス借上)や活動経費など(宿泊費の一部補助含む)を「広島大学校友会」から援助しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

教育・国際室 学生生活支援グループ 龍王
TEL:082-424-6146、FAX:082-424-6159